公益財団法人 日本野鳥の会
Wild Bird Society of Japan

探鳥会スタッフ通信　2018年8月号

「探鳥会スタッフ通信」は、探鳥会の考え方や様々な運営手法について、全国の連携団体の探鳥会リーダーの皆様と情報交換を行うための通信です。

目 次

◆平成 30 年 7 月豪雨　支部の状況と財団の対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
◆2018 年度「探鳥会リーダーズフォーラム」参加者を募集します・・・・・・・・・・・2
◆探鳥会保険集計結果・・・・・・・・・・・・4
（2018 年 6 月分）
◆普及室からのお知らせ・・・・・・・・・・6
・ツバメのねぐら入り観察会を開催しました
・2018 年度版「探鳥会保険のご案内」を発行いたします
◆今月の購読者数・・・・・・・・・・・・・・8
◆探鳥会スタッフ通信の無料配信について・9
◆編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・9

◆平成 30 年 7 月豪雨　支部の状況と財団の対応

このたびの集中豪雨による災害で被災された皆さま、そのご家族の方に謹んでお見舞い申しあげます。被災地の一日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。

この災害で被害の大きかった地域の支部の状況と、7月 31 日現在までの財団の対応をご報告いたします。

■支部の状況

今回、災害救助法が適用された地域（11 府県※104 市町村 ＜7 月 25 日現在＞）には約 1,700 名の会員がお住まいです。

会員でお亡くなりになるなどの人的被害は、現在のところ確認されておりません。しかし、会員の被災状況については、いまだ全容は把握できておりませんので、引き続き情報を収集してまいります。

※高知県、鳥取県、広島県、岡山県、京都府、兵庫県、愛媛県、岐阜県、福岡県、島根県、山口県

■財団の対応

・財団 HP にお見舞いを掲載

https://www.wbsj.org/inform/heavy-rain201807/

・支部との連絡

豪雨災害の直後より、被害の大きかった地域の支部と連絡をとり、お見舞いと共に状況を伺い、代表や事務局の方の無事を確認しました。

・会費収受の停止

災害救助法適用地域にお住まいの方の会費の引き落としを一旦停止し、「会員ご継続のお願い」と「自動引き落としのお知らせ」の発送も停止しました。被災状況を把握次第、改めてご案内をお送りする予定です。

・会費の免除

ご自宅に住むことができなくなるなど、大きな被害に遭われた会員の本部会費は、1 年間免除とします。支部会費については、各支部と協議し、決定します。

・財団 HP の探鳥会のページに追記

財団 HP の探鳥会のページに、平成 30 年 7 月豪雨の影響で探鳥会が中止または延期になる可能性がある旨を追記しました。

https://www.wbsj.org/about-us/group/tanchokai/

・その他

野鳥誌、支部ネット通信、探鳥会スタッフ通信にて状況を報告する予定です。

◎この件に関するお問い合わせ先
（公財）日本野鳥の会　会員室
gyomu@wbsj.org

◆2018 年度「探鳥会リーダーズフォーラム」参加者を募集します

今年度も探鳥会リーダーズフォーラムを開催します。初の東北での開催となります。遠方からのご参加の方には交通費を補助いたしますので、全国の皆さんのご参加をお待ちしています。

＜日　時＞　2019 年２月 16 日(土)13:00
～17 日（日）12:00
＜主　催＞　（公財）日本野鳥の会　普及室
＜旅行実施＞　（株）南海国際旅行
＜会　場＞　エスポール宮城（宮城県仙台市）
（ http://www.seinenkaikan.or.jp/ ）
＜対　象＞　支部、連携団体の探鳥会に関わっている方
＜定　員＞　40 名（定員になり次第締め切り）
＜参 加 費＞ 10,000 円
（宿泊費、１ 日目夕食、懇親会、２日目朝食込）

＜お申込み＞
以下のサイトからお申込みください。まず個人登録画面で登録を済ませてから、分科会選択用画面に移行して登録してください。
（※8 月 24 日（金）から申し込み開始）
https://www.pac-sys.net/nmes-nankai/entry/?tanchou-kantou2019

＜お申込期間＞
2018 年８月 24 日（金）
～2018 年 12 月 31 日（月）
定員になり次第締め切ります。

＜補助制度＞
①分科会発表者の方は参加費を半額補助いたします。分科会発表者および担当者の方は参加費のお振込みの前にメールで普及室まで連絡してください。
②公共交通機関を使用した場合の往復交通費が２万円を超える方には、超過した分の交通費を財団から補助いたします。（できるだけ格安チケットのご購入をお願いいたします。）
交通費の補助制度は、支部ごとに申請をして頂きます。利用される方がいる支部は、申請についてのご案内をメールにて差し上げます。普及室まで、早めにご連絡下さい。

◎お問い合わせ先
（公財）日本野鳥の会　普及室
メール：tancho-staff@wbsj.org
担当：箱田、関

＜プログラム＞
【1 日目（2/16）】
12:30　受付（昼食は各自でご用意ください）
13:30　オリエンテーション
ワールドカフェ
「探鳥会について話そう（仮題）」
15:00　アイスブレイキング
15:30　全体会
16:00　A 分科会
18:00　チェックイン、休憩
18:30　夕食
19:30　懇親会
【2 日目（2/17）】
7:30　朝食、チェックアウト
8:45　B 分科会
10:15　休憩、移動
10:30　全体集会
12:00　終了

▲昨年の分科会の様子

＜ 分 科 会 ＞

１日目（2/16）

A-1「ビギナー探鳥会で入会者を増やそう
～3 支部の取り組み事例から学ぶ～」
手塚（栃木県支部）、樋口（神奈川支部）、坂野（宮城県支部）

ビギナー向け探鳥会で入会者を増やしている３つの支部から、ビギナー探鳥会に対する考え方、具体的な実施方法とその成果などをお話ししていただきます。支部の規模や地域性により、それぞれのやり方、考え方の違いと共通点を浮き彫りにして、それをどのように自分の支部に導入したらよいか考えてみましょう。

A-2「鳥だけでなく人にも優しい！
～体の不自由な人のための探鳥会の実践～」
土居（鳥取県支部）、坂根（京都支部）、日本野鳥の会もりおか（未定）

近年、視覚や聴覚に障がいのある方、車いすの方を対象にしたバリアフリー探鳥会（体の不自由な方のための探鳥会）を実施する支部が増えてきています。

この分科会では、鳥取県支部、京都支部、もりおか（未定）の事例を紹介していただき、日本野鳥の会と福祉分野とのコラボレーションについて考えてみたいと思います。

A-3「女子探鳥会は支部を活性化させるか?」
細谷（山形県支部）、星野（愛知県支部）、武田（福井県）

女性が積極的に参加できている支部は、活気があって、風通しがよいことが多いようです。今、全国の支部で「女性が活躍できる支部」を目指して、女子探鳥会を始める支部が増えています。

今回は、女性対象の探鳥会を実施している３支部の事例をご紹介し、女子探鳥会導入の考え方やその効果について考えてみたいと思います。

２日目（2/17）

B-1「総点検！探鳥会のリスクマネジメント」
箱田、堀本（財団普及室）

探鳥会中の転倒、他の通行人との接触、熱中症・・・。探鳥会には意外と多くの危険が潜んでいます。以前は重視されなかった、近年の異常気象や自転車やランナーの増加、インターネットによる情報の流出などリスクが多様化しています。ここで、あらためて探鳥会のリスクマネジメントを確認しておきませんか。10 月に財団主催で開催した研修会の事例紹介とプログラムを体験していただき、探鳥会のリスクマネジメントについて議論してみたいと思います。

B-2「わかりやすいホームページをつくろう」
手塚（栃木県支部）、小林（宮城県支部）

栃木県支部では、ここ数年、ビギナー探鳥会を通じて入会者を増やし会員増の成果を上げています。そして、ビギナー探鳥会に参加する大きなきっかけになっているのが支部のホームページだということがわかってきました。

この分科会では、ホームページを整備することの重要性を栃木県支部の事例から再確認するとともに、1 年前に栃木県支部にならってホームページを整備した宮城県支部のその後の進捗も紹介していただきます。

B-3「野鳥の会育ちの子どもたちが
社会を変える」
笠原（神奈川支部）、土居（鳥取県支部）、小嶋（福井県）

ここ 3～4 年の傾向として、ジュニア会員が微増しています。その傾向は、ビギナー探鳥会にも反映されているのか、子どもの参加が目立つようになってきました。しかし、当会には子どもを対象としたプログラムや指導体制が十分ではないため、このままではせっかく興味を持ってくれた子どもたちの参加の機会を逃してしまう可能性があります。

そこで、今回は鳥取県支部と福井県での子どもラムサールの活動などの事例から、今後の野鳥の会の子ども事業の在り方を議論してみたいと思います。

◆探鳥会保険集計結果（2018 年 6 月分）

6 月は 66 支部からご報告をいただき、計 232 回の探鳥会が開催され、のべ 5,094 人が参加されました。

表 1. 6 月の探鳥会保険集計結果（2018 年 7 月 15 日現在）

支部	開催回数（回）	参加者数		スタッフ数（人）	合計人数（人）
		会員（人）	非会員（人）		
オホーツク支部	3	61	19	3	83
根室支部	–	–	–	–	–
釧路支部	2	12	15	4	31
十勝支部	–	–	–	–	–
旭川支部	1	17	0	1	18
滝川支部	2	31	1	2	34
道北支部	0	0	0	0	0
江別支部	–	–	–	–	–
札幌支部	4	129	50	10	189
小樽支部	2	10	7	2	19
苫小牧支部	1	7	0	2	9
室蘭支部	1	5	1	3	9
函館支部	–	–	–	–	–
道南桧山	2	17	10	5	32
青森県支部	–	–	–	–	–
弘前支部	2	27	2	2	31
秋田県支部	6	91	9	8	108
山形県支部	2	17	2	3	22
宮古支部	–	–	–	–	–
もりおか	1	20	12	5	37
北上支部	2	24	2	3	29
宮城県支部	3	57	38	6	101
ふくしま	2	42	0	4	46
郡山支部	5	79	4	14	97
二本松	–	–	–	–	–
白河支部	3	0	0	14	14
会津支部	3	16	3	3	22
奥会津連合	–	–	–	–	–
いわき支部	–	–	–	–	–
福島県相双支部	–	–	–	–	–
南相馬	–	–	–	–	–
茨城県	7	47	36	12	95
栃木県支部	11	149	59	31	239
群馬	7	77	50	23	150
吾妻	1	8	0	1	9
埼玉	4	106	42	28	176
千葉県	6	59	22	23	104
東京	11	290	3	53	346
奥多摩支部	–	–	–	–	–
神奈川支部	10	138	55	36	229
新潟県	–	–	–	–	–
佐渡支部	–	–	–	–	–

富山	2	35	16	5	56
石川	2	31	17	5	53
福井県	1	15	5	3	23
長野支部	2	28	9	4	41
軽井沢支部	2	19	23	2	44
諏訪支部	1	7	8	2	17
木曽支部	-	-	-	-	-
伊那谷支部	2	8	5	4	17
甲府支部	1	25	0	2	27
富士山麓支部	1	7	5	2	14
東富士	-	-	-	-	-
沼津支部	-	-	-	-	-
南富士支部	3	88	24	5	117
南伊豆	1	5	0	2	7
静岡支部	1	7	7	3	17
遠江	3	53	17	14	84
愛知県支部	8	94	73	23	190
岐阜	-	-	-	-	-
三重	1	9	8	2	19
奈良支部	3	63	14	6	83
和歌山県支部	0	0	0	0	0
滋賀	4	27	23	8	58
京都支部	7	125	19	16	160
大阪支部	18	293	72	81	446
ひょうご	6	83	81	17	181
NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	2	17	3	2	22
島根県支部	2	5	9	2	16
岡山県支部	4	71	45	12	128
広島県支部	3	33	17	3	53
山口県支部	3	23	4	3	30
香川県支部	4	107	47	6	160
徳島県支部	5	88	8	5	101
高知支部	-	-	-	-	-
愛媛	4	47	34	7	88
北九州支部	3	27	3	3	33
福岡支部	6	66	14	16	96
筑豊支部	7	95	8	7	110
筑後支部	4	31	7	8	46
佐賀県支部	2	42	7	2	51
長崎県支部	-	-	-	-	-
熊本県支部	5	75	33	7	115
大分県支部	1	15	11	1	27
宮崎県支部	3	29	20	3	52
鹿児島	1	24	6	3	33
やんばる支部	-	-	-	-	-
石垣島支部	-	-	-	-	-
西表支部	-	-	-	-	-
全国	232	3353	1144	597	5094

備考：-は保険の申請がなかったことを示しています。

（普及室）

◆普及室からのお知らせ

■ツバメのねぐら入り観察会を開催しました■

今年も普及室では、多摩川河川敷でツバメのねぐら入り観察会を２回開催しました。初の試みとして、ツバメグッズや図鑑、アウトドアグローブなどの販売も行いました。当日の様子をご報告いたします。

【日時】７月 29 日（日）、８月４日（土）
18 時 00 分～19 時 30 分
【場所】多摩川河川敷（東京都大田区）
【参加者】13 組 28 名（7/29）、
15 組 21 名（8/4）
【スタッフ】８名（7/29）、６名（8/4）
【配付物】ツバメのねぐらマップ、入会案内
8/4 のみ…ニコンようかん、飲み物、
アンケート・返送用封筒、カタログ
【協賛】（株）ニコンイメージングジャパン
（8/4 のみ）

■広報

一斉メール送信（5,049 件）によって、開催場所周辺の小冊子申込者等へ広報をしました。昨年は全国を対象に広報したところ、400 名を超える申込があったため、広報の範囲を狭めました。その結果、応募は、7/29 が 13 組 26 名、8/4 が 33 組 47 名となり、8/4 のみ抽選をしました。

■観察場所

昨年に引き続き、多摩川河口近くの河川敷（東京都大田区）で開催しました。ここ数年、安定して約３千羽が観察できています。

■観察会の内容

17:45～18:00　＜受付＞
集合場所は、六郷土手駅の改札外。
目印の「夜光ブレスレット」を渡し、広場がある河川敷へ誘導。
18:00～18:05　＜挨拶＞
河川敷にて、挨拶。
18:05～18:20　＜移動＞
観察場所まで移動。徒歩約 15 分。
18:20～19:10　＜観察＞
観察場所で、双眼鏡の貸出、配付物の配布。
ねぐらの説明・観察。
19:10～19:20　＜グッズ販売・寄付受付＞
19:30　＜終了＞
双眼鏡回収、解散。

ツバメのねぐら入り観察

7/29 は、風も少なかったためか、ツバメの動きが小さく、すぐにねぐら入りした印象でした。8/4 は、上空やヨシ原の近くを群れとなり飛ぶ様子が数回見られ、参加者の盛り上がりも大きかったようです。

グッズ販売、バードメイト寄付の案内

暗くなり観察が難しくなってきたところで、ランプを点け、グッズ販売と１口 1,000 円のバードメイト寄付の案内をしました。売上と寄付は、7/29 は 10 点 3,800 円、５口 5,000 円、8/4 は 18 点 8,000 円、５口 5,000 円となりました。

▲販売の様子

■まとめ

グッズ販売をしたところ、多くの参加者に興味を持ってもらえることが分かりました。引き続き、8/11 日本野鳥の会茨城県、8/18 栃木県支部でも試行させていただき、売上の傾向などを次号でご報告したいと思います。

この場所では、8/5 に神奈川支部が来年の本格開催を見据えて開催し、8/18 には日本野鳥の会東京が観察会を予定しています。年々、ねぐら入りへの注目が高まっていることを嬉しく感じています。

（普及室／堀本理華）

■2018 年度版「探鳥会保険のご案内」を発行いたします■

■探鳥会保険とは？

「探鳥会保険」は、財団や支部が開催する探鳥会活動をサポートすることを目的に、財団が窓口となり保険会社と契約している保険のことを指します。

この保険は財団が掛け金を払っているものですが、それは、支部が行う探鳥会は、財団と支部が共同開催しているという解釈が前提となっています。

より補償が手厚い「追加プラン」のご加入は、支部ごとにご検討いただき、掛け金は加入される支部に負担していただいています。

※詳細は、各支部の事務局に郵送しました「日本野鳥の会　探鳥会保険についてのご案内」をご覧ください。

毎年 8 月 5 日は、財団が契約している探鳥会保険の契約更改の日です。契約更改に合わせて、「探鳥会保険のご案内」を改定してお送りしていますが、今年度の改定箇所はございません。

昨年度と同じ内容となりますが、日付を変更して各支部の事務局にお送りいたします。

今後とも、探鳥会の保険の件で何かご不明のことがございましたら、普及室 普及教育グループまでお気軽にお問い合わせください。

◆今月の購読者数

探鳥会スタッフ通信８月号の電子メール版の購読者数は、先月から２名増えて840名です。各支部の購読者数は、「財団からの配信者数」と「支部からの転送による配信者数」の合計です。

表２．探鳥会スタッフ通信８月号電子メール版の購読者数（2018年８月15日現在）

支部	購読者数	支部	購読者数
オホーツク支部	6	長野支部	1
根室支部	0	軽井沢支部	1
釧路支部	2	諏訪	7
十勝支部	1	木曽支部	1
旭川支部	3	伊那谷支部	1
滝川支部	1	甲府支部	4
道北支部	1	富士山麓支部	0
江別支部	0	東富士	0
札幌支部	5	沼津支部	3
小樽支部	3	南富士支部	3
苫小牧支部	2	南伊豆	2
室蘭支部	5	静岡支部	2
函館支部	0	遠江	9
道南桧山	1	愛知県支部	44
青森県支部	1	岐阜	5
弘前支部	5	三重	19
秋田県支部	4	奈良支部	3
山形県支部	4	和歌山県支部	5
宮古支部	1	滋賀	20
もりおか	4	京都支部	30
北上支部	2	大阪支部	26
宮城県支部	39	ひょうご	16
ふくしま	4	NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	10
郡山支部	1	島根県支部	13
二本松	1	岡山県支部	28
白河支部	2	広島県支部	9
会津支部	2	山口県支部	16
奥会津連合	0	香川県支部	6
いわき支部	1	徳島県支部	6
福島県相双支部	0	高知支部	1
南相馬	0	愛媛	15
茨城県	22	北九州	11
栃木県支部	59	福岡支部	12
群馬	24	筑豊支部	21
吾妻	1	筑後支部	5
埼玉	38	佐賀県支部	5
千葉県	23	長崎県支部	1
東京	67	熊本県支部	14
奥多摩支部	48	大分県支部	4
神奈川支部	25	宮崎県支部	4
新潟県	2	鹿児島	3
佐渡支部	1	やんばる支部	0
富山	2	石垣島支部	1
石川	29	西表支部	1
福井県	10	合計	840

（普及室）

◆探鳥会スタッフ通信（電子メール版）の無料配信について

探鳥会スタッフ通信は、支部の探鳥会スタッフならどなたでも受信できます。（無料です）

ご希望の方は、「探鳥会スタッフ通信希望」と明記のうえ、①支部名 ②担当している探鳥会名 ③お名前 ④ご住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス（パソコンやスマートフォンのアドレス）を記入し、tancho-staff@wbsj.org へお申し込みください。バックナンバーとともにメール版を送信いたします。

配信を希望されない、メールアドレスの変更などについても、tancho-staff@wbsj.org までお知らせください。

★編集後記

今年は特別暑い日が多いせいか、普及室では「こんなに暑いとツバメのヒナが心配」といったご相談のお電話をたくさんいただきました。みなさまはいかがお過ごしでしょうか？

今月号では、普及室で開催した「ツバメのねぐら入り観察会」の報告を掲載しております。参加者のうちほぼ全員が、ツバメの子育ての様子を見たことがあるとのこと。ヨシ原でたくさん舞い飛んでいるツバメ一羽一羽が、きっと誰かが見守っていたツバメなのだろうと思うと、感動もひとしおですね。

身近な野鳥であるツバメのねぐらが、たくさんの方々にとって野鳥の生息地を大切に思うきっかけになればいいな、と思う今日この頃です。

また、秋期（10 月～12 月）開催分の「初心者向けバードウォッチング」の実施概要をお送りいただいたみなさま、ありがとうございました。

冬期（1 月～3 月）開催分につきましても、来月初めには実施概要のご提出のお願いをいたします（締め切りは 10 月 15 日です）。開催のご検討を、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、残暑の折、お体を大切にお過ごしください。

（普及室／井上奈津美）

日本野鳥の会
探鳥会スタッフ通信　第65号
◆発行
（公財）日本野鳥の会　2018年8月16日
◆担当
普及室　普及教育グループ
〒141-0031
東京都品川区西五反田3-9-23丸和ビル
TEL：03-5436-2622
FAX：03-5436-2635
E-mail：tancho-staff@wbsj.org